

インテリア建材 中折れドア

施工要領書

このたびは、弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立ておよび取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

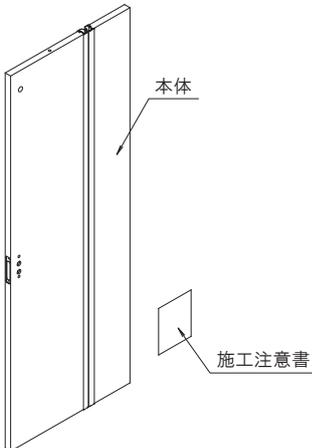
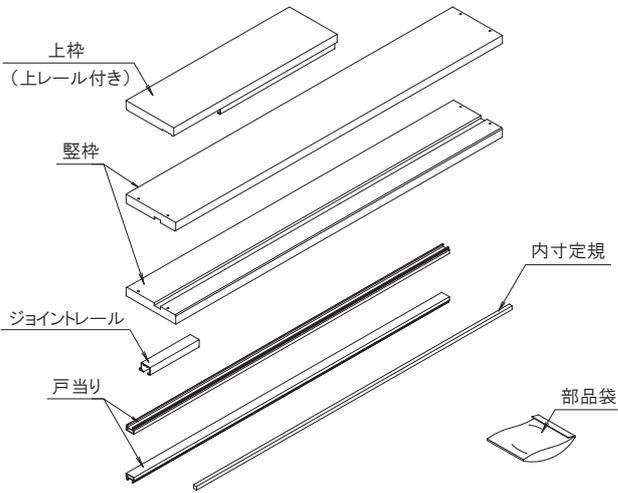
① 組み立て・取り付け上の注意事項

ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

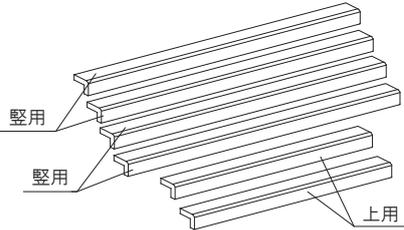
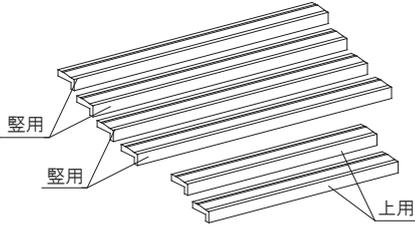
- ・中折れドア以外への転用および改造は行わないでください。
- ・指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ・ねじ止め・釘打ち箇所は指定してあるねじ釘を全て確実に止めてください。
- ・組み立て、取り付け完了後、正しく作業が行なわれたこと、開閉動作や施錠が正常に行なうことができることおよび使用上の不具合がないか確認してください。
- ・施錠した状態で枠と本体間等に隙間が生じていないか、ご確認ください。不具合がある場合は確実に建付け調整を実施してください。
- ・引渡前に清掃を行ない、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- ・現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- ・本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付ドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじの頭が破損したり、つぶれたり、ねじが空回りしたりします。

② 梱包内容の確認

- ・開梱時に種類と数量を確認してください(部品袋の内容にもご注意ください)。
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合は、販売店または弊社までご連絡ください。

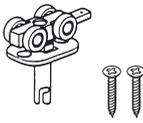
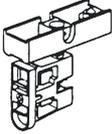
	本体	枠
中折れドア		

●オプション ケーシングセット

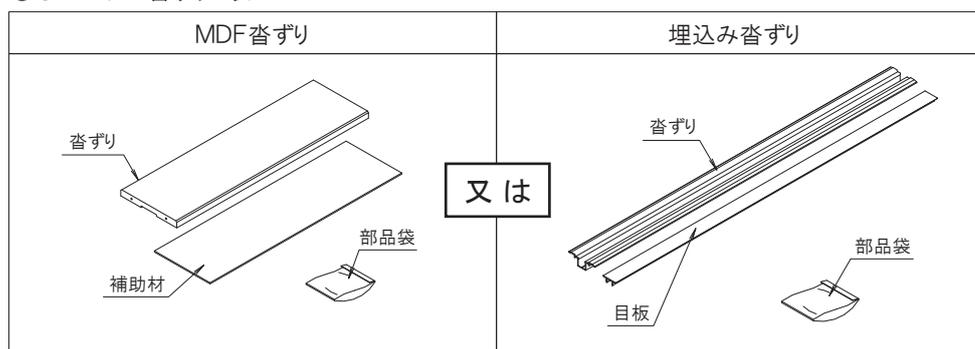
L型タイプ	化粧タイプ
	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">又は</div>	

● 枠部品袋詳細

タイプ	呼称	部品	枠組み立て用 木ねじ	躯体取り付け用 木ねじ	ジョイントレール 取り付け用ねじ	ホールプレート	スパナ
							
			専用木ねじ 3.8×51×8	木ねじ皿 3.8×51×8	木ねじ皿 3.5×20×7		
中折れドア	6520	4本	12本	2本	2個	1個	
	7220						
	7320						
	7520						
	7820						
	8220						
8720							

タイプ	呼称	部品	ガイドライナー	吊元上金具	吊元下金具	施工要領書
						
			タッピン1種皿 3.5×25×7.4 2本		タッピン1種なべ 3.5×30×7.4 2本	
中折れドア	6520	1セット	1個	1セット	1冊	
	7220					
	7320					
	7520					
	7820					
	8220					
8720						

● オプション 沓ずりセット

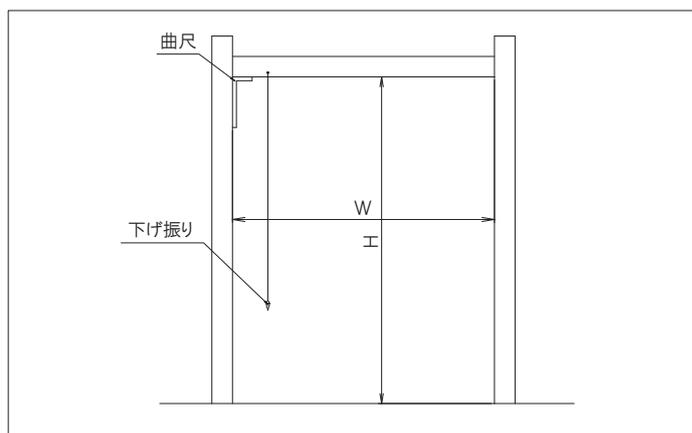


③ 開口部の確認

- ① ドア枠取り付け前に、必ず柱の水平、垂直が出ているか確認してください。
- ② 見込みは枠とケーシングの組合せにより幅広く対応できます。
(ケーシングの足をカットする場合は、一律に丸ノコなどでカットしてください。)

■ 開口部寸法表

開口部W	枠W+5~10mm
開口部H	枠H+3~5mm 床先張りの場合は 枠H+17~20mm

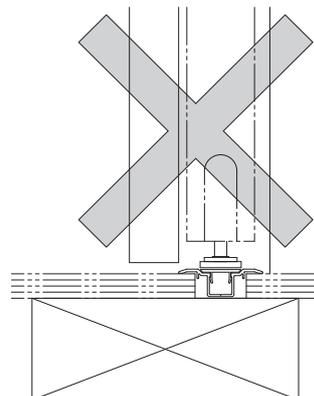
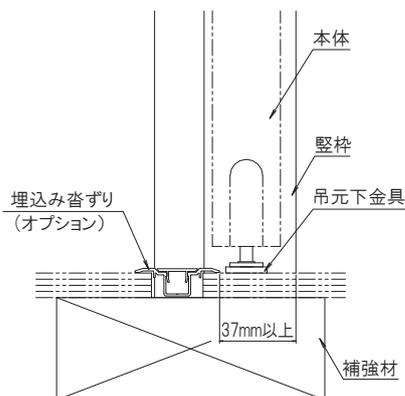


④ 床の張り方

【床先張り: 埋込み沓ずりの場合】

- ・図のように床を張ってください。

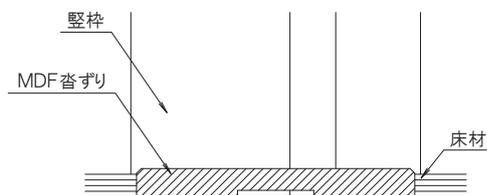
※埋込み沓ずり取り付けのため、補強材を必ず取り付けてください。特に根太張り工法の場合は、必ず十分な強度を持った補強材をお使いください。



- ❗ 扉本体の下を避けて埋込み沓ずりを取り付けてください。埋込み沓ずりは、縦枠端部より37mm以上離してください。(吊元下金具は、埋込み沓ずりの上に取り付けられません。)

【床後張り: MDF沓ずりの場合】

※枠取り付け後、縦枠・MDF沓ずりにそって床材を張ってください。



⑤ 枠の組み立て

縦枠下端の切り詰め

・本体下端と床面または沓ずりのチリ寸法は13mm(標準値)に設定してください。

1) 床面上に枠を取り付ける場合

・床材厚さに関係なく、縦枠下端を12mm切り詰めてください。

2) 床材施工前に枠を取り付ける場合

・縦枠の切り詰めは必要ありません。

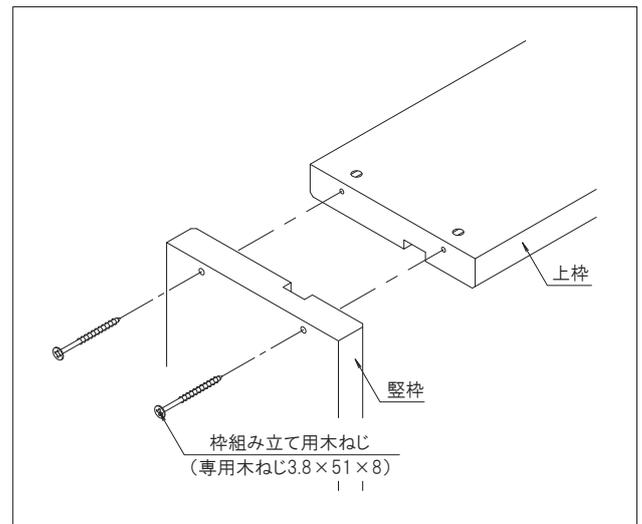
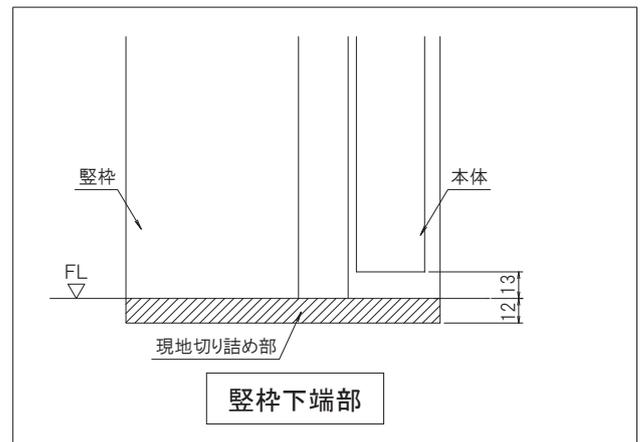
・15mm厚の床材使用の場合、沓ずりの下に3mm厚の補助材が必要です。

※MDF沓ずりの場合は補助材が同梱されています。

※埋込み沓ずりの場合は補助材を現地手配してください。

・ドア枠すべてに下穴が加工されています。

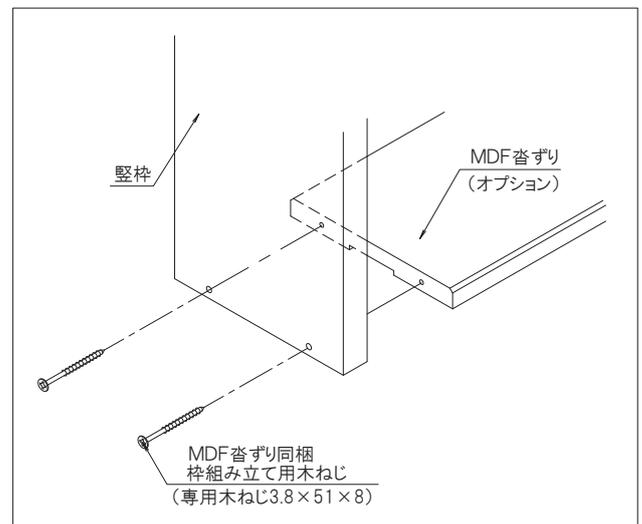
・上枠と縦枠を枠組み立て用木ねじ(専用木ねじ3.8×51×8)で組み立ててください。



●オプション MDF沓ずり

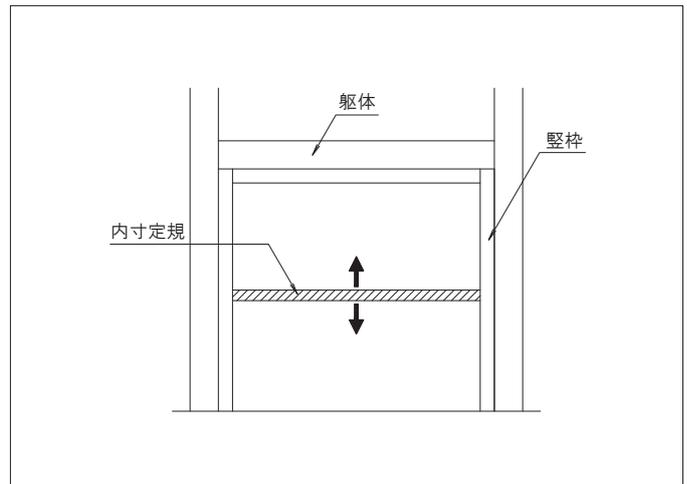
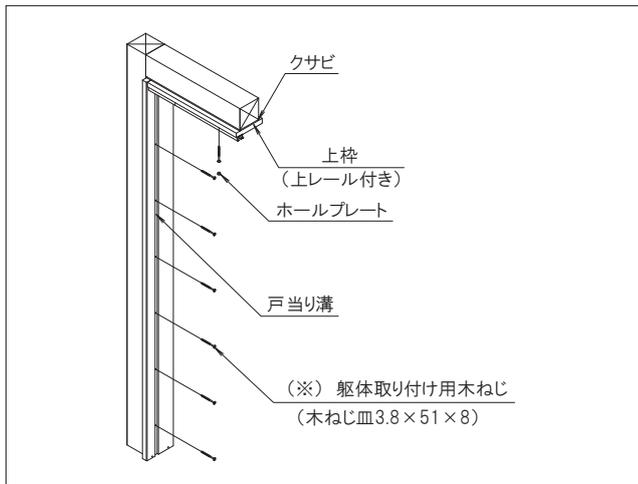
【沓ずり(t=15)を使用する場合】

・右図のようにMDF沓ずりと縦枠を枠組み立て用木ねじ(専用木ねじ3.8×51×8:沓ずり同梱)で組み立ててください。



⑥ 枠の取り付け

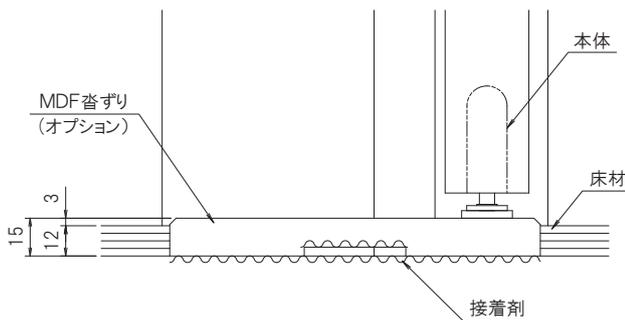
- ① 枠を壁面のラフ開口部にはめ込み、クサビなどで上下、左右、前後、倒れなどを調整し、位置を決めてください。
- ② 戸当り溝の間より躯体取り付け用木ねじ(木ねじ皿3.8×51×8)で、躯体にしっかりと固定してください。その際、同梱の内寸定規を用いて、開口寸法の確認を行なった後、本固定してください。



●MDF沓ずりを床に埋込む場合

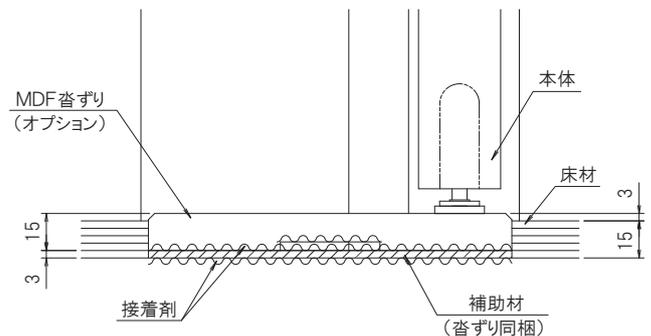
(床材厚さ12mmの場合)

- 必ずMDF沓ずりに接着剤を塗布し、躯体に固定してください。



(床材厚さ15mmの場合)

- 必ずMDF沓ずりに接着剤を塗布し、躯体に固定してください。

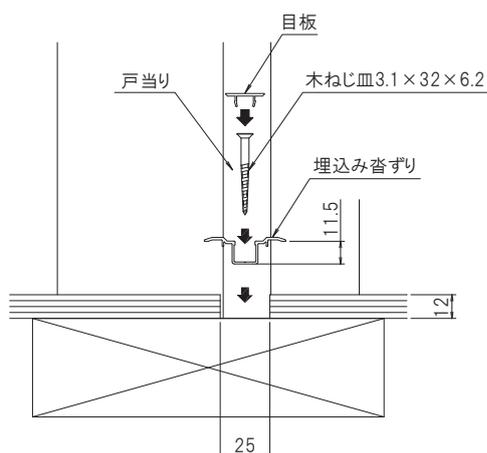


●埋込み沓ずりを床に埋込む場合

(床材厚さ12mmの場合)

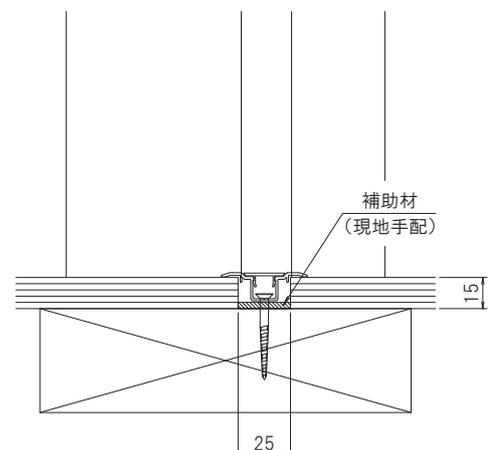
- ・枠取り付け後、埋込み沓ずりを戸当りに接する位置に沓ずり同梱の躯体取り付け用ねじ(木ねじ皿3.1×32×6.2)にてねじ止めし、目板をはめ込んでください。

※目板がはめにくい場合は、当て木を当てて 樹脂ハンマー等でたたってください。

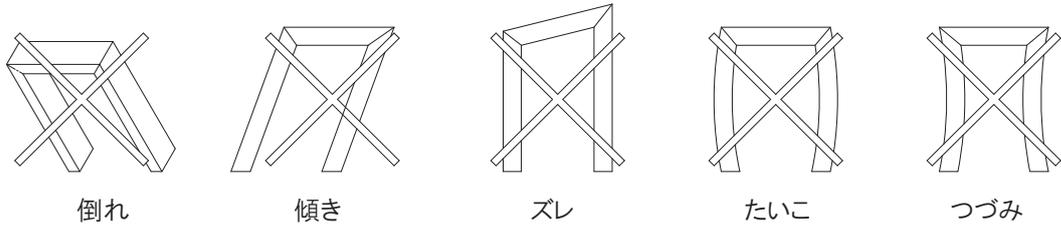


(床材厚さ15mmの場合)

- ・埋込み沓ずりの下に厚さ3mmの補助材(現地手配)を敷いて施工してください。

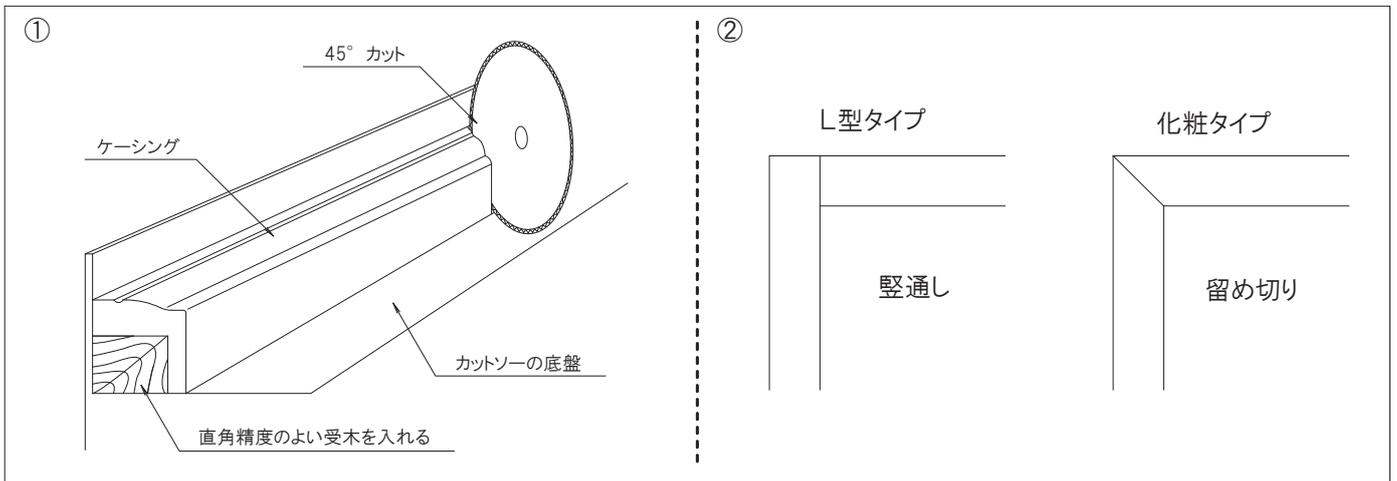


- ※ ①木ねじ止め時、枠に傷をつけないように止めてください。
- ②クサビなどは、左右4個、上下各2個くらいを平均に使用して調整を行なってください。
木ねじはクサビなどがある場所へねじ止めしてください。
- ③施工後の枠が下図のようにならないよう水平・垂直および開口部寸法の確認をしてください。
(いずれも±1.5mm以内の施工にてお願いいたします。)



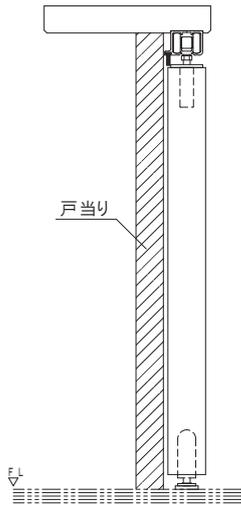
⑦ ケーシングの切断方法

- ①ケーシング材を現場寸法に合わせてカットしてください。
- ②接合部は下図を参考にL型タイプは堅通し、化粧タイプは留め切りにしてください。
※留め切りはケーシングの裏側に直角が出ている受け木を入れ、45° 斜めカットソーで切断すると精度が
です。
※ケーシング切断寸法はあらかじめ留め切りにしてある部分を基準にして切断してください。

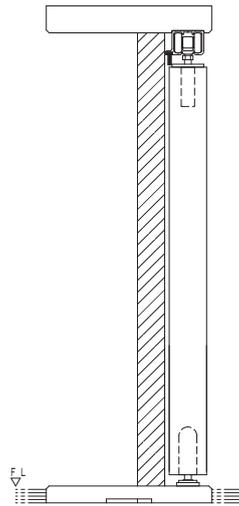


⑧ 戸当りの取り付け

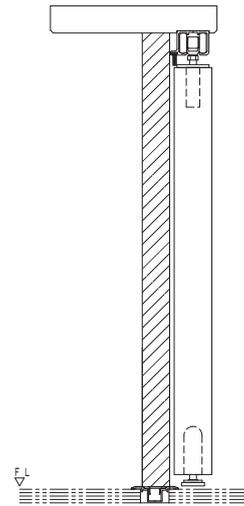
①戸当りを、各納まりに応じて現物寸法合わせの上、切断してください。



三方枠の場合



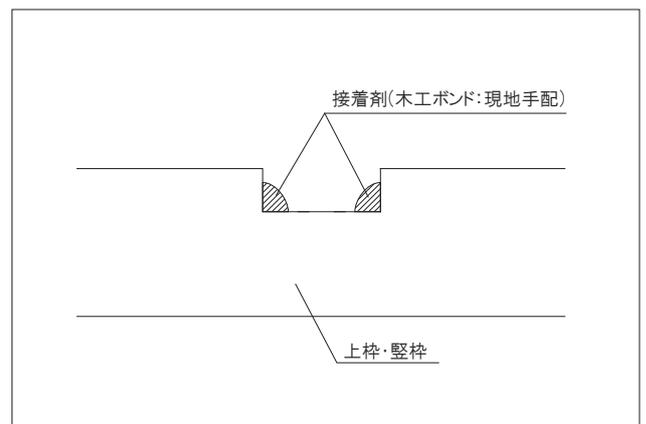
MDF沓ずり使用の場合



埋込み沓ずりの場合

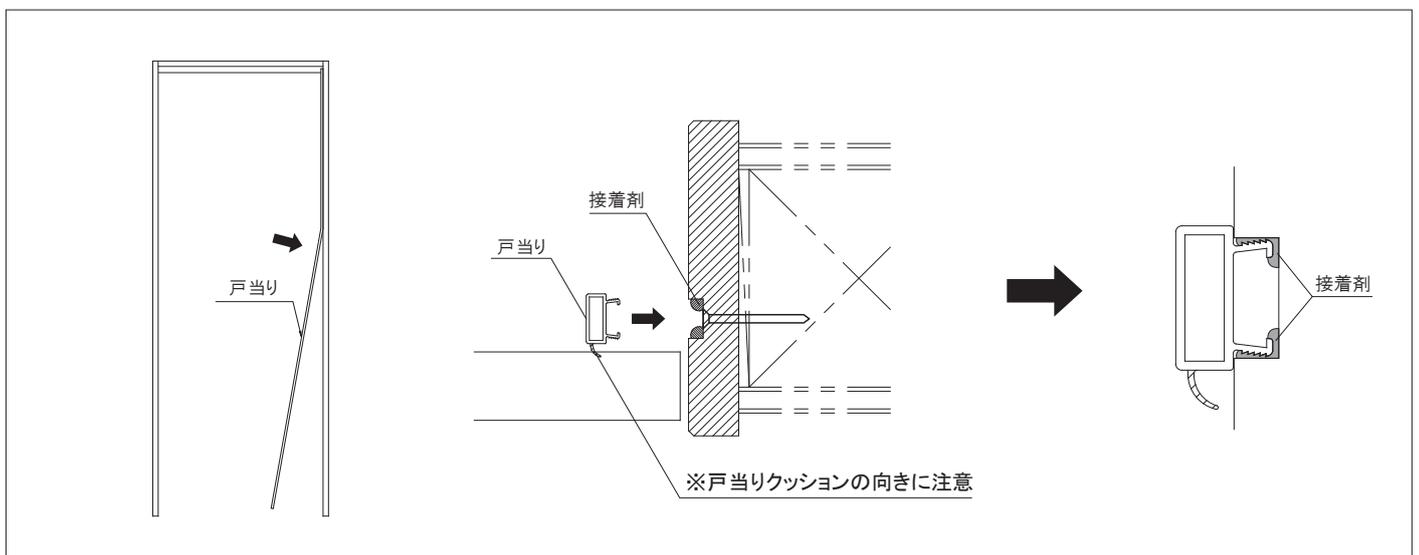
②右図のように、上枠・堅枠に接着剤(木工ボンド:現地手配)をまんべんなく塗布してください。

注 接着剤の量が少ないと扉の開閉時に戸当りがはずれるおそれがあります。



③下図のように、堅枠に戸当りを枠に押し込むようにして取り付けてください。

- ※・戸当りを取り付ける際、クッション側がドア側になるように取り付けてください。
- ※・戸当りの取り付け後は必ず接着剤が完全に固まるまで(2~3時間)ドアを強く閉じないでください。

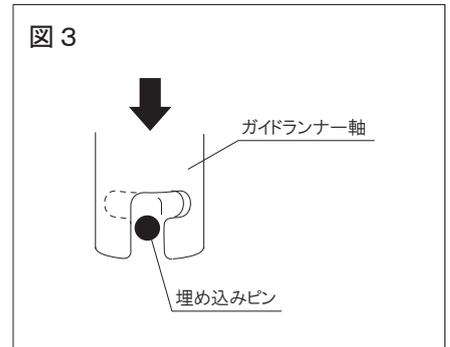
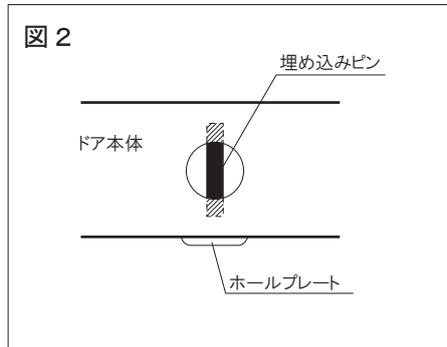
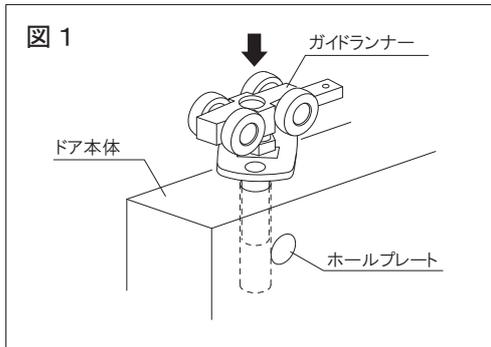


⑨ ガイドランナーの取り付け

①ガイドランナーをドア上部の木口部の穴に差し込みます。(図1)

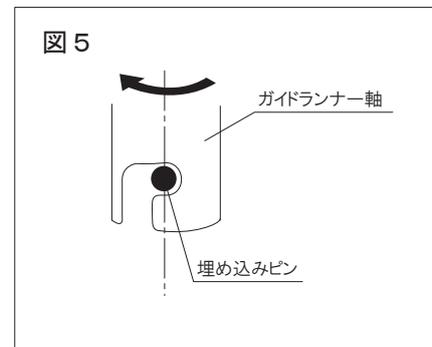
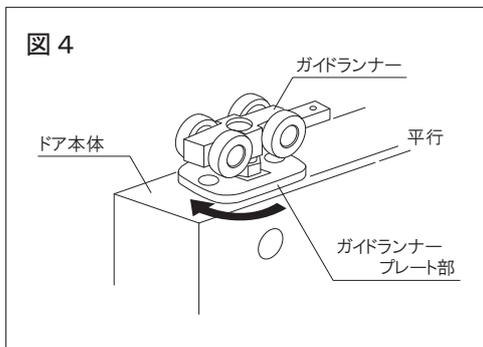
※ガイドランナー取り付け用の穴の奥には“埋め込みピン”がドア面に対して垂直方向に取り付いています。(図2)

※ガイドランナー差し込み時には、ガイドランナー軸にある溝に、埋め込みピンが入るようにしてください。(図3)

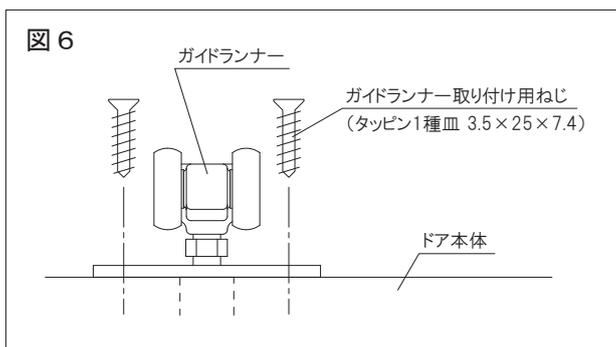


②ガイドランナーを埋め込みピンに引っ掛けるように、ガイドランナーのプレート部を回転させます。(図4, 5)

※軸が回転するようにプレート中央部の四角の穴へ軸をはめ込み、プレートを回転させます。この時ガイドランナーを埋め込みピンにしっかり引っ掛かるように、プレートはドア面と平行になるまで回転させてください。

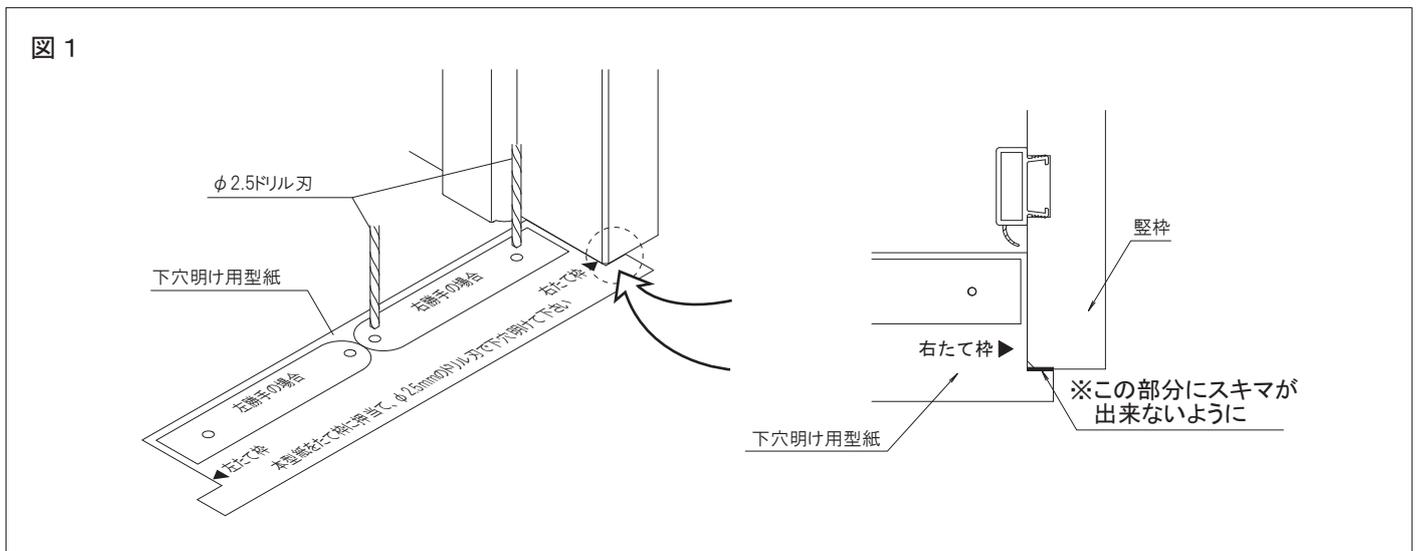


③ガイドランナー取り付け用ねじ(タッピン1種皿3.5×25×7.4)で固定してください。(図6)

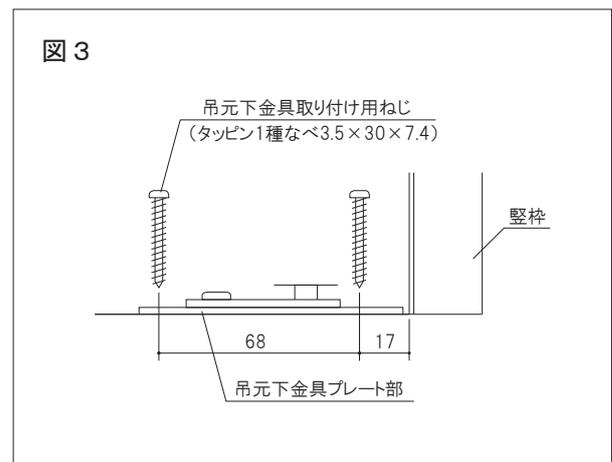
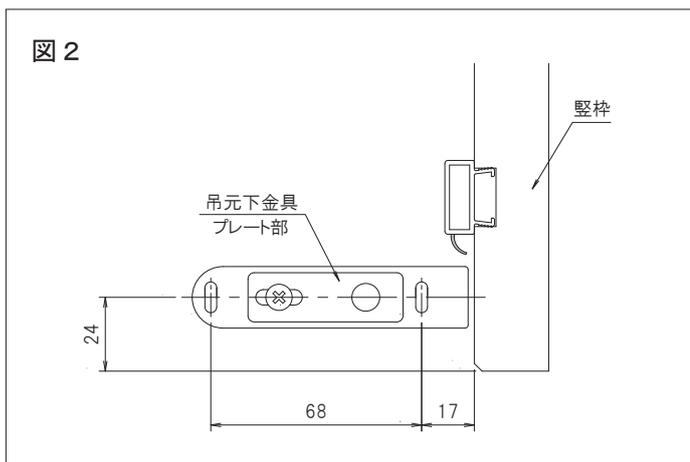


⑩ 吊元下金具の取り付け

- ① 図1のようにした穴明け用型紙をたて枠に当て、 $\phi 2.5\text{mm}$ のドリル刃で下穴を明けてください。
 ※型紙は本施工要領書の13ページにありますので、切り取って利用ください。



- ② 吊元下金具は、ドア吊元側の床面へ図2、3のように吊元下金具取り付け用ねじ（タッピン1種なべ $3.5 \times 30 \times 7.4$ ）にて固定してください。



⑪ ドア本体の吊り込み

①吊元上金具をレールに取り付けます。固定ビスのない側よりレールに挿入します。(図1)

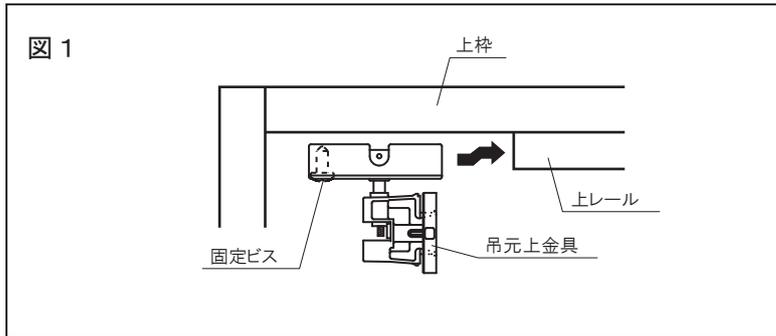
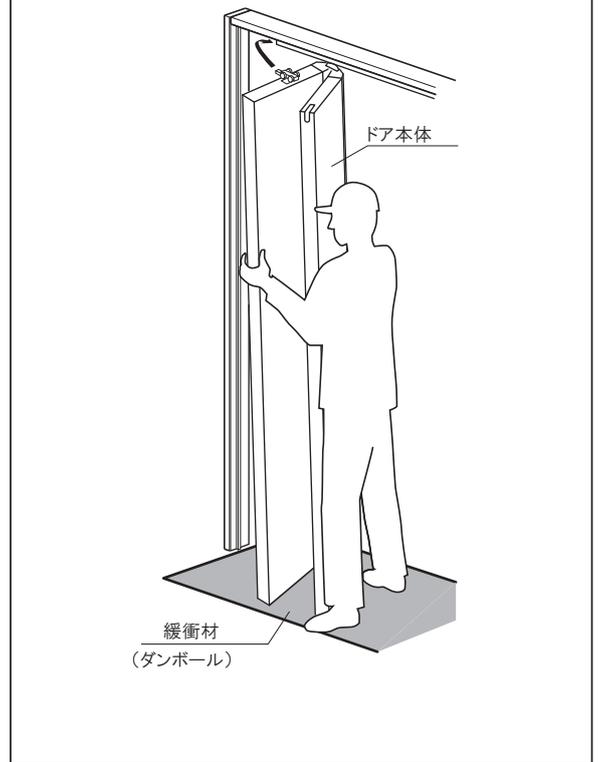
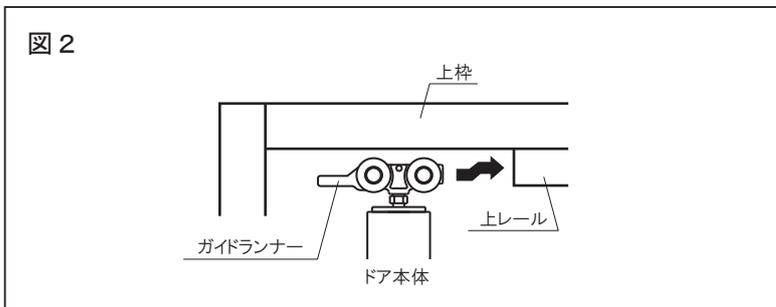


図 3

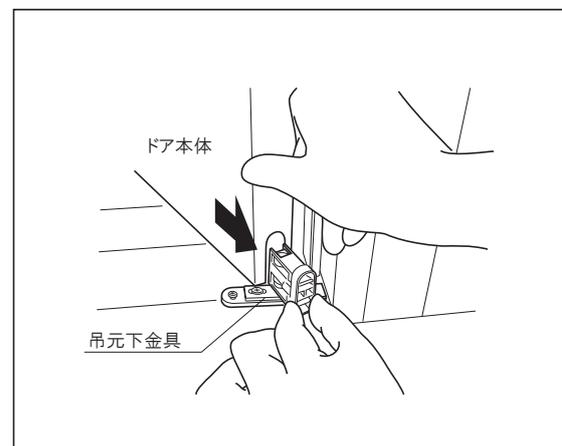
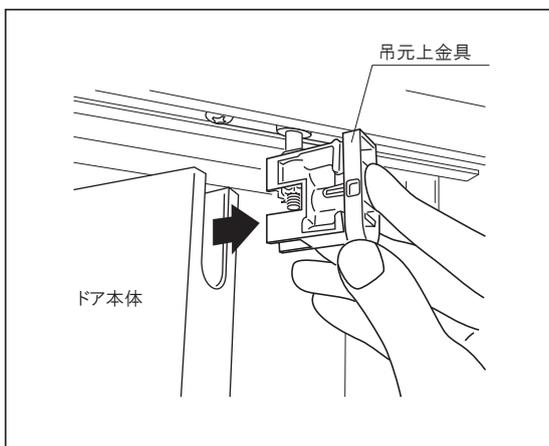


②上レールジョイント部よりガイドランナーを挿入しながら
ドア本体を吊り込みます。(図2、3)

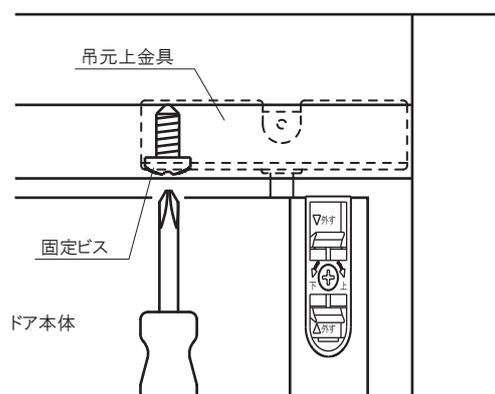
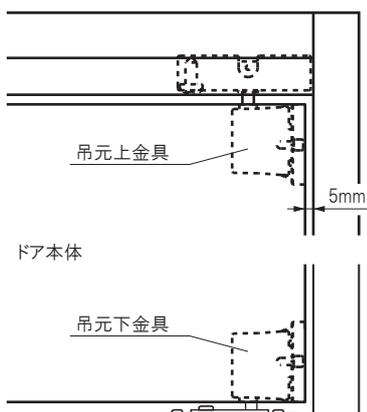
- ・床を保護する為、図3のように床の上へ緩衝材(ダンボール)を敷きます。
- ・ガイドランナーをレールにセットする際、ドアが逆戻り、脱落しないように十分注意してください。



③吊元上金具と吊元下金具をドア本体へワンタッチで取り付けられます。
最初に吊元上金具を取り付けてから、吊元下金具を取り付けてください。

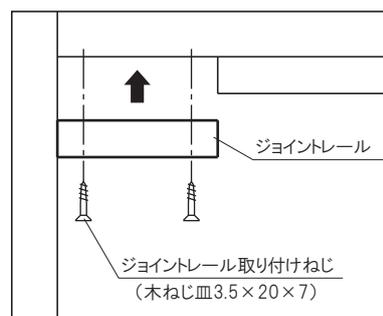


④吊元側ドアと枠の隙間が5mmとなるように調整してください。その後、ドライバーにて吊元上金具を固定してください。



⑫ ジョイントレールの取り付け

- ・ジョイントレールをレール溝に合わせ、レールに段差がないようにジョイントレール取り付け用ねじ(木ねじ皿3.5×20×7)でしっかり固定してください。



⑬ ドア本体の建て付け調整

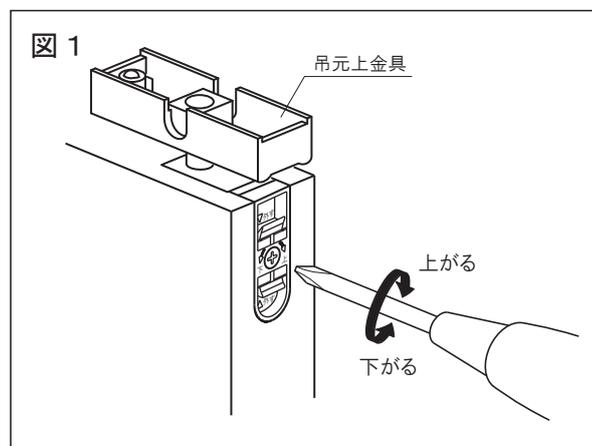
- ドア本体の吊元上金具およびガイドランナーには、上下方向の調整機能が付いています。

① 吊元上金具の上下調整(図1)

- ・プラスドライバーにて、小口面より見える調整ねじを右へ回すとドア本体が上がり、左へ回すとドア本体が下がります。

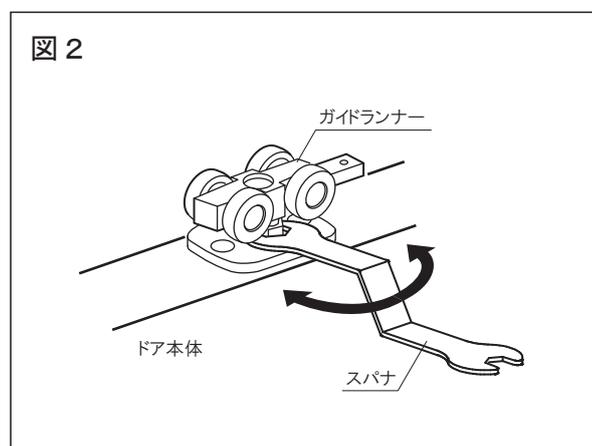
※床面とドア本体下部のチリ寸法は9mmが標準です。

また、吊元下金具の機能上、床面とドア本体下部のチリ寸法は8mmより小さくなりません。



② ガイドランナーの上下調整(図2)

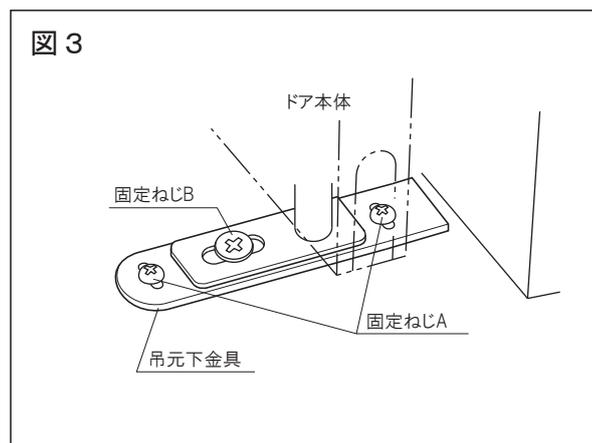
- ・同梱のスパナにて、上下調整ナットを回しながら調整してください。



③ 吊元下金具の調整(図3)

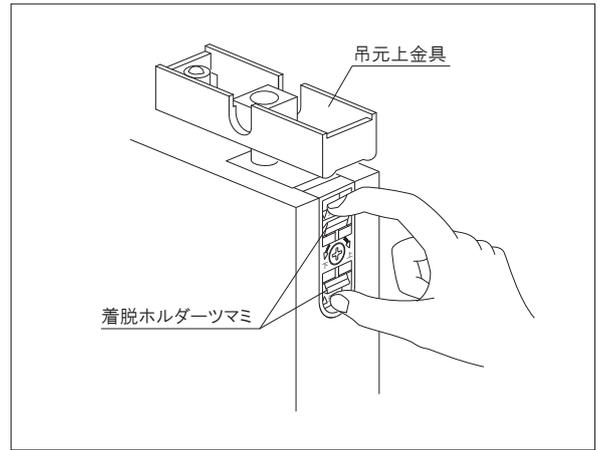
- ・固定ねじAを緩めると見込み方向へ前へ3mm、後へ3mm調整が可能です。
- ・固定ねじBを緩めると戸先側へ8mm、戸尻側へ2mm調整が可能です。

※調整が終了しましたら必ずねじを固定してください。



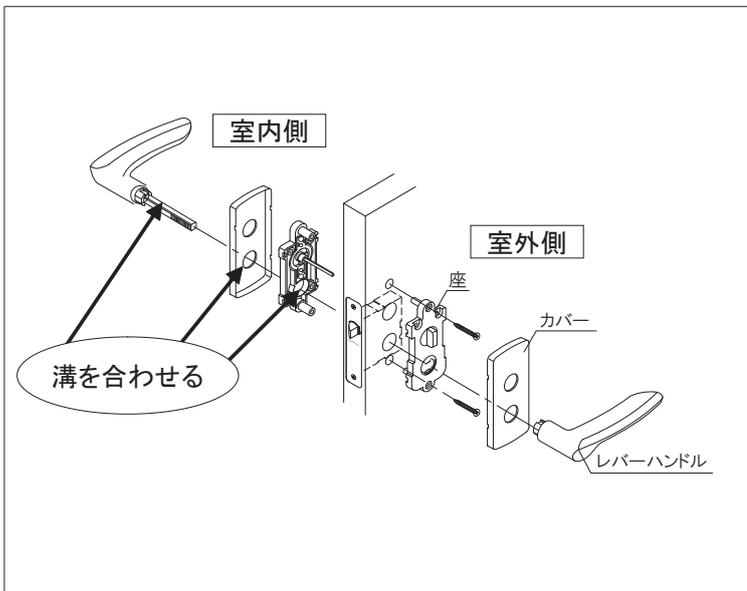
⑭ ドア本体の取り外し

- ドア本体を手で支えて吊元上(下)金具の小口面の着脱ホルダー部のツマミを指ではさんだまま、全体を水平に押すと外れます。

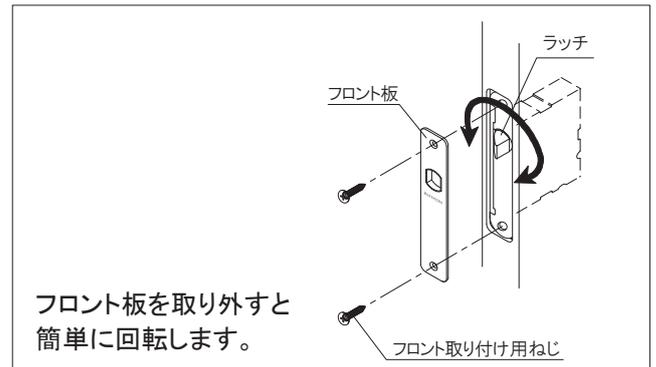


⑮ ハンドルの取り付け、および取り外し

- 下図のように本体に座、カバー、レバーハンドルを取り付けてください。

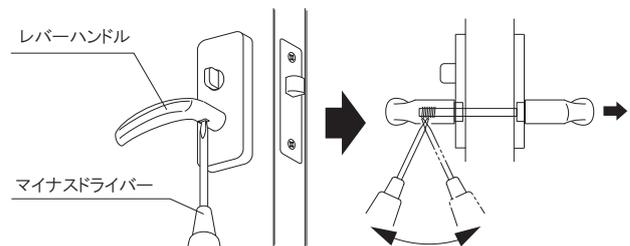


- ① 室内になる座と、レバーハンドルの溝を最初に合わせてください。
- ② 化粧座取り付け用ねじは、手回しドライバーにて締め付けてください。
- ③ 鍵のラッチは右吊元になっています。左吊元として使用する場合は、下図のようにフロント板を外し、ラッチを回転させた後、フロント板を付け直してください。
- ④ ハンドル取り付け後、作動確認をしてください。



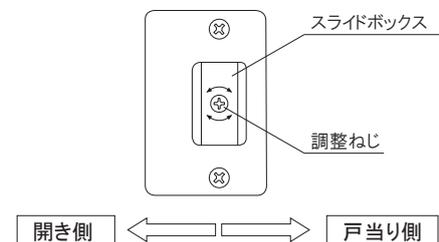
●レバーハンドルの取り外し

- 取り外しはマイナスドライバーを差し込み、ハンドルを抜いてください。

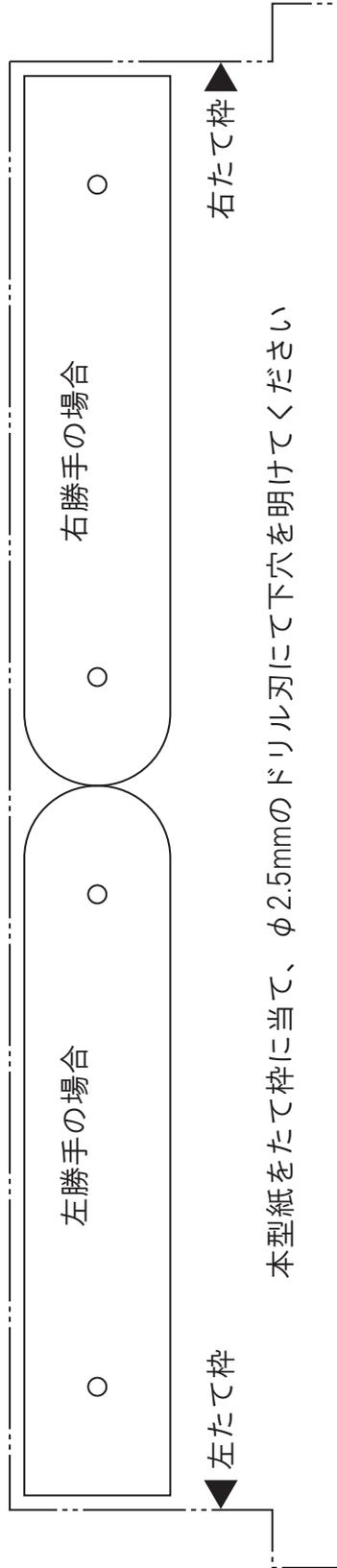


⑯ ストライクの調整方法

- ドアのラッチ部分に「ガタツキ」がある場合は、右図のように調節ねじにて、スライドボックスの位置を調整してください。



----- にそって切り取ってください。

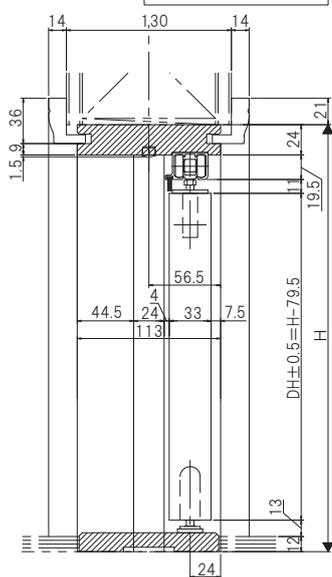


● iS 中折れドア

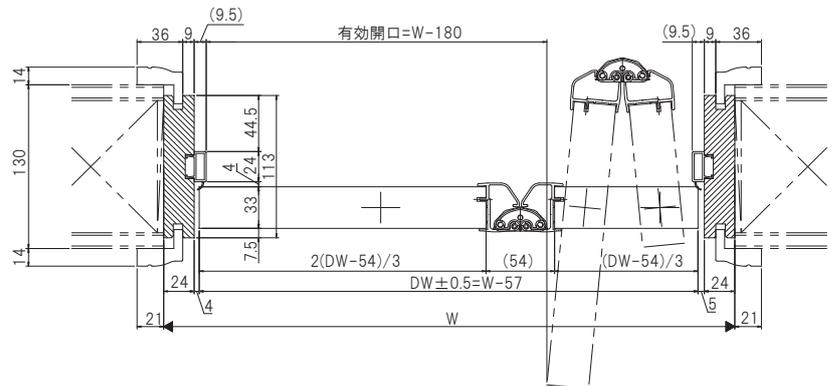
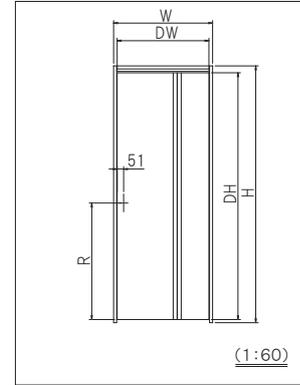
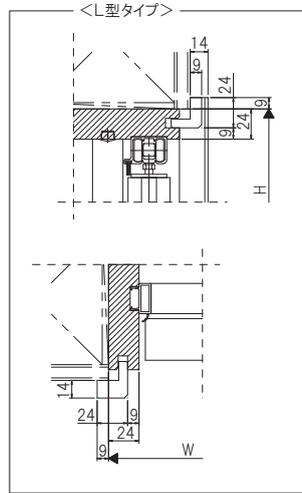
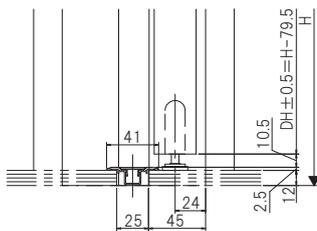
基本寸法 (mm)	W呼称	65	72	73	75	78	82	87
	W	650	720	735	750	780	825	870
	(DW)	(593)	(663)	(678)	(693)	(723)	(768)	(813)
	H呼称	20						
	H	2039						
(DH)	(1959.5)							

■ 中折れドア

ケーシング

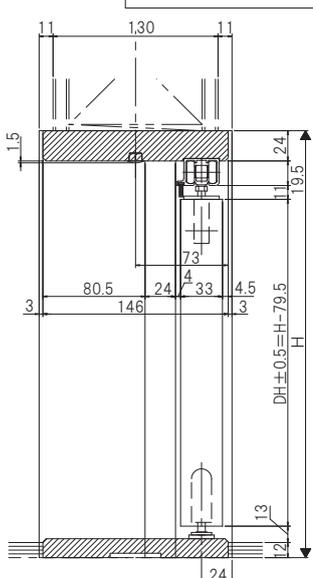


● 埋め込み沓摺 (フラット沓摺)

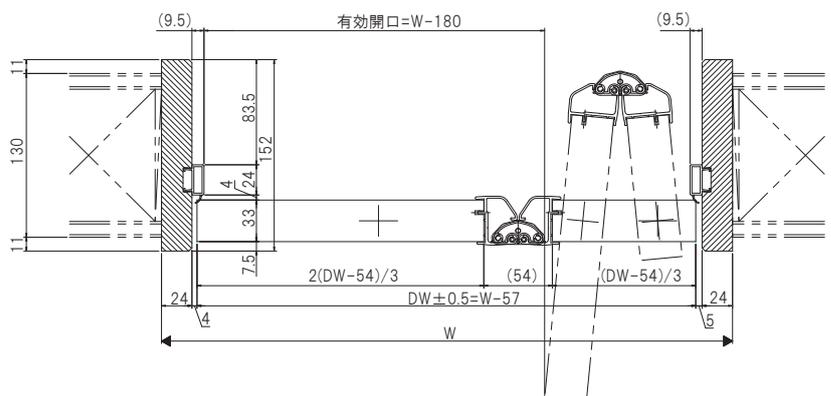
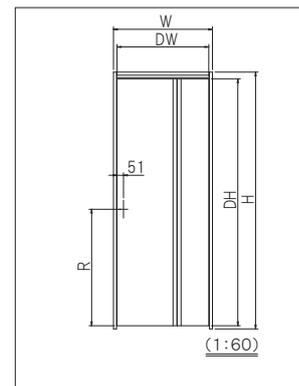
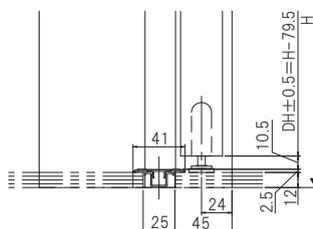


■ 中折れドア

ハンケーシング



● 埋め込み沓摺 (フラット沓摺)



取り付け終了後の確認

■取り付けが完了しましたら、下記の点について確認してください。

取り付けが完了しましたら、本製品が他の現場工事によって破損しないよう梱包資材などを利用して養生しておいてください。

ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、捨てたり燃やしたりせず、回収業者に引き取っていただくようお願いいたします。

